

2023年度第86回支部研究報告会・第9回建築デザイン発表会タイムテーブル
 (発表時間8分、質問2分、入れ替え時間1分の合計1題11分)

	Zoom会場1 (22題)		Zoom会場2(22題)		Zoom会場3(18題)		Zoom会場4(4題)		
	環境工学+計画		計画		構造+材料施工		建築デザイン発表会		
6月25日 (日)	9:20~9:29	環境Ⅰ 発表者点呼	9:20~9:29	計画Ⅱ 発表者点呼	9:20~9:29	構造Ⅰ 発表者点呼			
	9:30~10:25	環境Ⅰ A-1~A-5 ⑤ (菅原 正則)	9:30~10:47	計画Ⅱ B-8~B-14 ⑦ (山畑 信博)	9:30~10:36	構造Ⅰ C-1~C-6 ⑥ (三辻 和弥)	—		
	10:26~10:49	ディスカッション	10:48~10:59	ディスカッション	10:37~10:49	ディスカッション			
	10:50~10:59	環境Ⅱ 発表者点呼	11:00~11:09	計画Ⅲ 発表者点呼	10:50~10:59	構造Ⅱ 発表者点呼	10:50~10:59	デザイン 発表者点呼	
	11:00~11:55	環境Ⅱ A-6~A-10 ⑤ (長谷川 兼一)	11:10~11:54	計画Ⅲ B-15~B-18 ④ (速水 清孝)	11:00~12:17	構造Ⅱ C-7~C-13 ⑦ (吉野 裕貴)	11:00~11:44	デザイン E-1~E-4 ④ (櫻井 一弥)	
	11:56~12:10	ディスカッション	11:55~12:10	ディスカッション	12:18~12:30	ディスカッション			
	昼休み								
	12:50~12:59	環境Ⅲ 発表者点呼	12:50~12:59	計画Ⅳ 発表者点呼	12:50~12:59	材料施工 発表者点呼			
	13:00~13:55	環境Ⅲ A-11~A-15 ⑤ (高木 理恵)	13:00~13:55	計画Ⅳ B-19~B-23 ⑤ (崎山 俊雄)	13:00~13:55	材料施工 D-1~D-5 ⑤ (西脇 智哉)	—		
	13:56~14:09	ディスカッション	13:56~14:09	ディスカッション	13:56~14:10	ディスカッション			
	14:10~14:19	計画Ⅰ 発表者点呼	14:10~14:19	計画Ⅴ 発表者点呼					
	14:20~15:37	計画Ⅰ B-1~B-7 ⑦ (小藤 一樹)	14:20~15:26	計画Ⅴ B-24~B-29 ⑥ (内山 隆弘)	—		—		
	15:38~15:50	ディスカッション	15:27~15:40	ディスカッション					

※支部研究報告会ディスカッションの時間について
 セッション終了時間から次のセッションの発表者点呼までの時間を自由に討論できる
 ディスカッションの時間といたします。

日本建築学会東北支部研究報告集 目次

計画系

発表時間 1人11分（発表8分 質疑応答2分 交代1分）

日 時：2023年6月25日（日）

会 場：オンライン（Zoom）

9：30～10：25

環境工学Ⅰ【司会者 菅原 正則（宮城教育大学）】

A-1 地中熱ヒートポンプ空調システムを備えた住宅の省エネルギー性能に関する研究

（その7）GSHPの稼働と地中温度の相互干渉に関する検討

○竹内 仁哉（秋田県立大学）、長谷川 兼一、松本 真一

A-2 ライフサイクルカーボンマイナス住宅の評価に関する基礎的研究

—秋田県内の高性能住宅を対象とする考察—

○竹内 仁哉（秋田県立大学）、長谷川 兼一、松本 真一

A-3 秋田県における民生部門の低炭素化に関する研究

その6 現状趨勢モデルの精度検証と考察

○大和 頌（秋田県立大学）、長谷川 兼一、松本 真一、竹内 仁哉

A-4 水環境施設における温室効果ガス排出量による環境評価

○福井 啓太（福井水環境研究所）、岡田 誠之、小川 幸正、今井 正樹、須藤 諭

A-5 公衆浴場の入浴行為と入浴者数による浴槽水濃度予測

○岡田 誠之（東北文化学園大学）、福井 啓太

11：00～11：55

環境工学Ⅱ【司会者 長谷川兼一（秋田県立大学）】

A-6 浸水被害住宅の真菌汚染と復旧手法に関する調査研究

○石戸 脩斗（秋田県立大学）、長谷川 兼一、中谷 岳史、松本 真一、竹内 仁哉

A-7 宮城県の高齢者施設における室内環境と環境調整行動の実態調査

—新型コロナウイルス感染症対策下における温熱空気環境の評価—

○高木 理恵（東北工業大学）、谷本 裕香子、阪田 升、石井 敏

A-8 保育施設の階段室における浮遊微粒子と二酸化炭素濃度の挙動

○葛井 綾乃（八戸工業高等専門学校）、馬渡 龍、森 太郎、栗原 浩平

A-9 仙台市の小中学校教室における環境マイクロバイオームの特性

○菅原 正則（宮城教育大学）、福島 朋実、小林 光、江刺 美和

A-10 口から放出される飛沫の個数粒径分布・初速に関する文献調査とウイルス摂取量の応答係数の導出

○後藤 伴延（東北大学）、武田 結、橋本 拓実

13 : 00~13 : 55

環境工学Ⅲ【司会者 高木 理恵（東北工業大学）】

A-11 応答係数とマルチエージェントシミュレーションを連携させた感染リスク評価手法の提案

○橋本 拓実(東北大学)、武田 結、後藤 伴延

A-12 岩手県における自宅学習時の温熱環境に関する実態調査

その1: 冬期のアンケート調査

○青笹 健(岩手県立大学)

A-13 住宅における低湿度環境が健康に及ぼす影響に関する研究

—その1 東北・関東地方を対象とした実測調査の概要及び乾燥感と曝露環境との関連性の分析—

○田村 成(秋田県立大学)、長谷川 兼一、鍵 直樹、三田村 輝章、松本 真一、竹内 仁哉

A-14 戸建住宅の断熱改修のための環境計画手法に関する事例的検討

その8 戸建住宅の断熱改修前後におけるLCCO₂の事例評価

○長谷川 兼一(秋田県立大学)、松本 真一、竹内 仁哉

A-15 VSOP87理論に基づく太陽視赤緯・均時差の詳細計算

○松本 真一(秋田県立大学)

14 : 20~15 : 37

計画Ⅰ【司会者 小藤 一樹（八戸工業大学）】

B-1 中学校家庭科における持続可能な住生活の学習指導過程と教具の提案

○菅原 正則(宮城教育大学)、武山 侑加

B-2 防火建築帯・防災建築街区の更新に向けた台湾の亭仔脚の空間構成との比較研究

その1 断面比較と活用事例

○土屋 和男(常葉大学)、脇坂 圭一

B-3 防火建築帯・防災建築街区の更新に向けた台湾の亭仔脚の空間構成との比較研究

その2 間口・立面、アクティビティ、法制度の比較

○脇坂 圭一(静岡理工科大学)、土屋 和男

B-4 住宅における庭の使われ方に関する研究

—日本とイギリスの比較—

○藤田 純平(東北芸術工科大学)、山畑 信博

B-5 日本住宅における縁側の変遷と現代的価値

○柴崎 愛美(文化シャッター株式会社)、山畑 信博

B-6 セルフリノベーションによる空き家の利活用の課題と可能性に関する研究

その1 学生主体による計画・実施事例を通じた課題

○高坂 玲音(日本大学)、山田 義文

B-7 現代茅葺構法の開発に関する研究—茅葺構法原理に着目して—

○保本 浩希(山形大学)、濱 定史

9 : 30~10 : 47

計画Ⅱ【司会者 山畑 信博（東北芸術工科大学）】

B-8 高齢者の自宅内での運動場所の確保と運動の傾向

○小地沢 将之(宮城大学)、伊藤 有沙

B-9 自動運転車いすの建物内の移動方法の標準化のための基礎的実験

○鍵屋 浩司(東北工業大学)

B-10 高齢者施設における職員行動と空気環境:

新型コロナウイルス影響下におけるエビデンスに基づく職員の環境調整行動について

○谷本 裕香子(東北工業大学)、高木 理恵、阪田 升、石井 敏

B-11 2000~2019年の急性期病院における病棟平面計画の傾向

—スタッフステーションからの視認性から見た多翼型病棟の事例考察—

○小藤 一樹(八戸工業大学)、白岩 武龍

B-12 北東北のニュータウンにおけるフードデザートの影響に関する研究

○西尾 洸毅(八戸工業大学)、森谷 颯、賣井坂 力

B-13 設計者が運営に関与するシェアハウス事例における設計方法と運営実態に関する研究

○武井 和也(静岡理工科大学)、脇坂 圭一

B-14 晩翠草堂にみる小倉強の設計思想について

○梶原 英浩(山形大学)

11 : 10~11 : 54

計画Ⅲ【司会者 速水 清孝（日本大学）】

B-15 原町庄司分家住宅の年代調査—仙台町家の研究

○中尾 七重(山形大学)、安井 妙子

B-16 盛岡藩麻布下屋敷の研究(1)

○中村 隼人(八戸市博物館)

B-17 盛岡藩麻布下屋敷の研究(2)

○中村 隼人(八戸市博物館)

B-18 国指定重要文化財にみる部屋名称の全国傾向とその史的価値

○長田 城治(郡山女子大学)

13 : 00~13 : 55

計画Ⅳ【司会者 崎山 俊雄（東北学院大学）】

B-19 昭和初期の仙台都市計画における風致地区の位置づけに関する研究 その1

風致地区指定の過程・目的と規制制度の整備

○齋藤 駿介(京都大学)

B-20 福島県郡山市における古民家に対する一般市民の認識調査と今後の展望

—「子供世代」の意識と古民家を取り巻く周辺環境についての研究—

○井上 真聖(日本大学)、山岸 吉弘

B-21 東北大学星陵キャンパスの建築の変遷について

○内山 隆弘(東北大学)

B-22「開かれた美術館」に関する歴史的研究(1945-85) その1

日本の公立美術館における概念の形成と展開について

○鈴木 ひなた(乃村工藝社)、速水 清孝

B-23「開かれた美術館」に関する歴史的研究(1945-85) その2

日本の公立美術館の飲食部門の展開について

○川島 由梨(日本大学)、速水 清孝

14 : 20~15 : 26

計画Ⅴ【司会者 内山 隆弘(東北大学)】

B-24 東北地方に建築された恩賜郷倉の県別特徴について

○斎藤 広通(仙台工科専門学校)、今村 信一

B-25 旧宿海嘯記念館の調査報告について

○斎藤 広通(仙台工科専門学校)、今村 信一

B-26 文翔館(旧山形県庁舎)の漆喰装飾について

○渡邊 天翔(仙台高等専門学校)、相模 誓雄

B-27 山寺門前町の形成を背景とした旧山寺ホテルの建設経緯と建築的特徴

○推名 浩斗(山形大学)、濱 定史

B-28 オリエンタルカーペット工場事務所建物の建設背景および空間構成について

○山口 丈二(山形大学)、濱 定史、高澤 由美

B-29 明治後半期～昭和初期における東北六県の土木・建築系技師について

—近代都道府県庁の土木・建築系技術者に関する歴史的研究—

○崎山 俊雄(東北学院大学)

日本建築学会東北支部研究報告集 目次

構造系

発表時間 1人11分（発表8分 質疑応答2分 交代1分）

日 時：2023年6月25日（日）

会 場：オンライン（Zoom）

9：30～10：36

構造Ⅰ【司会者 三辻 和弥（山形大学）】

C-1 青森県、山形県における大スパン鉄骨構造物の構造調査とデータベースの構築

○吉野 裕貴（仙台高等専門学校）、木村 祥裕

C-2 二方向地震動を受ける連層柱を付与した層中間ピン柱脚骨組の終局耐震性能

○千葉 茜（東北大学）、古川 幸、木村 祥裕

C-3 縮小ラーメン模型における連続補剛並列H形断面梁の横座屈挙動

○久保 理博飛（仙台高等専門学校）、吉野 裕貴、木村 祥裕

C-4 合成梁の曲げ剛性に与える各種機械的ずれ止めのずれ剛性の影響

○平賀 圭悟（東北大学）、鈴木 敦詞、木村 祥裕、高橋 順一、菊地 啓太

C-5 木造カーポートのためのラーメン構造の検討

その1. アルミ角柱に木柱を挿入した柱脚接合部のモーメント抵抗性試験

○眞坂 恵理子（秋田県立大学）、板垣 直行

C-6 軸力変動を受けるRC柱部材実験と柱軸挙動に着目したMulti-Springモデルに関する検討

○川野 菜々美（秋田県立大学）、櫻井 真人、菅野 秀人

11：00～12：17

構造Ⅱ【司会者 吉野 裕貴（仙台高等専門学校）】

C-7 個別要素法による骨組構造物の解析に関する基礎的研究

○長島 周（日本大学）、野内 英治

C-8 SRC造中層建物のSTERA_3Dによる弾塑性地震応答解析—立体モデルによる解析—

○益野 英昌（仙台工業高校）、齊藤 大樹、佐武 直紀、柴田 明德

C-9 伝統木造寺院建築の振動特性における雪・地震荷重の影響

○三辻 和弥（山形大学）、花里 利一、新津 靖

C-10 1層直置き型構造物の緩衝ゴムによる地震後残留すべり変位抑制の実験的検証

○西尾 智樹（東北大学）、榎田 竜太、福田 伊織、五十子 幸樹

C-11 免震建物の過大变形抑制の実現に向けたダンパー力の周波数帯域制限

○毛塚 尚太郎（東北大学）、五十子 幸樹

C-12 高層RC造架構の塑性化を考慮した鉛直方向設置するTVMDの同調方法の検討

○太田 凌斗（秋田県立大学）、菅野 秀人

C-13 ダイナミック・マス—渦電流ダンパーを用いた動吸振器を有する3層免震試験体の特性同定

○河本 怜（東北大学）、五十子 幸樹

材料施工【司会者 西脇 智哉（東北大学）】

- D-1 吸水調整材塗布後ポリマーセメントモルタルで被覆するコンクリート表面被覆工法におけるそれらの塗布量及び被覆厚さがコンクリートの中酸化抵抗性に及ぼす影響
○西 陸登(日本大学)、齋藤 俊克、出村 克宣
- D-2 再乳化形粉末樹脂を用いたポリマーセメントモルタルの電気抵抗率に及ぼす含水率の影響に関する一考察
○荒木 裕人(日本大学)、齋藤 俊克、出村 克宣
- D-3 ポリマーセメントモルタルを結合材とするポーラスコンクリートの静弾性係数推定のためのポリマー混入係数の検討
○田中 秀暉(日本大学)、齋藤 俊克、出村 克宣
- D-4 メッシュ平年値を活用した東北地方における寒中期間を詳細に示す GIS マップの作成
○高杉 文也(東北大学)、西脇 智哉、谷口 円
- D-5 樹種に着目した伝統木造建築実部材を対象とする非・微破壊的手法による劣化診断方法の検討
○大塚 亜希子(秋田県立大学)、富澤 魁人、今本 啓一